

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ メディアとの上手な付き合い方
- 2 対象 教職員、保護者
- 3 専門医 東海林 岳樹 医師(精神科)
- 4 実施月 6月
- 5 内容(キーワード)
ゲーム依存・ネット依存の予防と対策



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

- 有効だった
 有効でなかった

<その理由>

* 本校では子どもたちのメディア接触時間の長さが課題であり、専門家からメディアを長時間使用することによる弊害やメディア依存を防ぐための対策を聞くことができとても有効であった。学校でも家庭でも活かせる内容であり、保護者も含めて講演を聞くことができてよかった。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった
 有効でなかった

<その理由>

* 保護者も参加する学校保健委員会で講演していただいたことで、健康課題への関心を一層高めることができた。PTAと連携して行っているメディアの取り組みにも役立つと感じた。

③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

- 有効だった
 有効でなかった

<その理由>

* 今回の講演について医療機関と連絡調整をし、連携を取ることができた。

〔受講者の感想など〕

- 依存のメカニズムについて様々な視点から学ぶことができ、とても勉強になった。ゲームやネットに依存してしまう根本的な原因を解決しなければ表面的な指導をしても効果がないということを知り、子どもたちが依存に陥らないための環境を整えていくことが必要なのだと感じた。



〔教科やその他の指導との関連性〕

- 児童会で行うメディアの取り組みや、生活リズム調査、体重測定時の保健指導等に活かしていきたい。